結果の概要

~平成27年2月分~

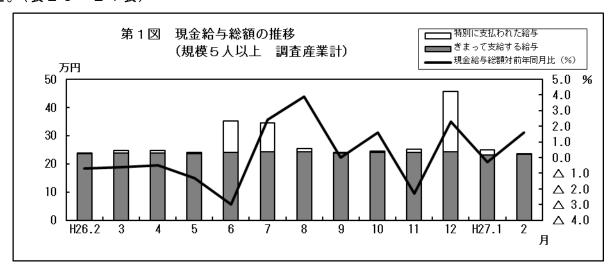
1 賃金の動き

2月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、前年同月比 1.6%増の 236,358 円(規模30人以上では、1.0%増の 252,930円)となった。(第1図、第1・2表)

また、きまって支給する給与(定期給与)は、前年同月比 1.6%増の 234,346円(規模30人以上では、1.1%増の 250,758円)であった。(第1・2表)

きまって支給する給与のうち所定内給与は、前年同月比 1.0%増の 216,412円(規模 3 0 人以上では、0.6%増の 230,050円)であった。(第1・2表)

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、331,256円(規模30人以上では、341,050円)、パートタイム労働者は、94,347円(規模30人以上では、104,784円)であった。(表20・21表)



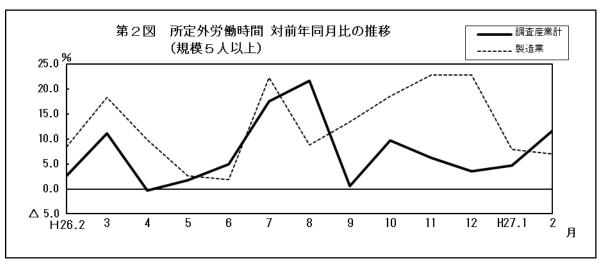
2 労働時間の動き

2月分の調査産業計の月間総実労働時間は、前年同月比 2.3%増の 137.9 時間 (規模 3 0 人以上では、1.9%増の 140.9 時間) となった。(第1・2表)

また、所定外労働時間は、前年同月比 11.7%増の 11.2 時間(規模30人以上では、11.6% 増の 12.5 時間)であった。(第2図、第1・2表)

製造業の所定外労働時間は、前年同月比7.0%増の17.9時間(規模30人以上では、2.2%増の18.6時間)であった。(第2図、第1・2表)

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、172.4 時間(規模 30 人以上では、169.8 時間)、パートタイム労働者は、86.4 時間(規模 3 O 人以上では、92.3 時間)であった。(表2 O・2 1 表)



3 雇用の動き

2月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で前年同月比2.0%増の2,062,263人(規模30人以上では、2.8%増の1,189,887人)となった。製造業では、前年同月比0.6%減の384,641人(規模30人以上では、1.0%減の271,582人)であった。(第3図、第1・2表)

就業形態別にみると、一般労働者数は 1,238,695 人 (規模 3 O 人以上では、745,957 人)、パートタイム労働者数は 823,568 人 (規模 3 O 人以上では、443,930 人) となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で 39.9% (規模 3 O 人以上では、37.3%) であった。(第1・2・20・21表)

